

# 発言通告書（総括表）

## 令和2年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	池田議員 (自民)	・コロナ時代の食育のあり方 について	・家庭での食事生活が増えたこともあり改めて栄養バランスを考えた食育を考える機会ではないか ・食品ロス削減の推進について民間企業と連携が図れないか ・食に関する窓口を明確に設置することを提案する	区 長 関係理事者
2	永田議員 (自民)	感染症に対する危機管理体制 と情報発信について	新型コロナ関連の情報は国、都、各自治体の対応、情報が一元化されていない。区として受け身にならず情報収集、分析し区民が混乱しないように情報発信すべきである。現在、緊急事態宣言が解除になったものの依然として警戒が必要な状況下で、これまで分かってきた新型コロナの特性を踏まえた衛生管理、経済対策を求める。	区 長 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

令和2年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	大串議員 (公明)	老朽化マンションの建替え促進に向けて!	<p>1) 老朽化マンションの建替えは大きな課題となっている。まちづくり政策及び住宅政策を新規建設(供給)から建替え(再生)に舵を切る時がきている。そこで、区長に老朽化マンションの建替えについて基本的な考え方を問う。</p> <p>2) まちづくり政策と住宅政策の連携について</p> <p>①老朽化マンションの建替え促進には、これまでのまちづくりと住宅政策が連携した住宅の供給(都心居住の推進)からこれからは連携しながらのストックの再生(良質なストックの形成)へと大きく方針を転換する必要がある。そこで、まちづくりと住宅政策が連携した老朽化マンションの建替えを促進するための方針を示してはどうか。</p> <p>②都市計画マスタープランの改定について 改定マスタープランの中間のまとめに対する意見聴取においても老朽化マンションの建替えが課題であるとの公述があった。この課題を解決していくため改定マスタープランではどのような将来像を目指そうとしているのか。</p> <p>③住宅基本条例について 平成4年に策定の条例だが、当時は住宅の供給に重きが置かれていて条例もそうになっている。策定から30年近くが過ぎ住宅政策は当時の供給から再生へと大きく変わった。改めて条例をどう読み理解すればいいのか、また再生に重きを置くために条例改正が必要ではないか。所見は。</p> <p>3) マンション再生へ行政の支援のあり方について 1981年以前に建てられた旧耐震マンションを要支援マンションとして認定し様々な支援が行えるようにしてはどうか。</p> <p>4) 行政が関与できる場合について 私有財産であるマンションへの公的な関与は慎重かつ最小限にすべきだが、建替えができなければ災害時には倒壊しマンション住民や地域住民の命にかかわる、また地域の環境に著しく悪影響を与えるようなマンション(要除却と認定されたマンション)には、調査、指導、勧告、公表などの関与ができる仕組みをつくってはどうか。</p>	区長 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

## 令和2年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
4	たかざわ議員 (自民)	1. コロナ禍における避難所の 在り方について  2. コロナ禍において高齢者の ケアについて現状はいかに	<p>新型コロナウイルスが世界的に流行している。日本でも緊急事態宣言は解除されたが、日々感染者が増えている。また、日本列島各地で震度3以上の地震が頻発し、先月は緊急地震速報も数度出されるなど一度大震災が発生すれば複合災害となり、避難所の在り方について対応を考えておかなければならないが、本区の現状と今後の対応について問う。</p> <p>現在、高齢者のイベントは中止され、リハビリやデイサービスも休止となっている。少しずつ戻りつつあるが、高齢者のケアについて現状はいかに。 社会福祉協議会では、利用者に対し電話、手紙などを使い安否確認や情報提供など行っているという。区内各施設では利用者へのケアはどのように行われているか。</p>	区 長 関係 理事 者
5	岩佐議員 (立憲)	1. たすけあい基金の創設につ いて  2. 働き続けることへの相談・支 援強化について	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大が区民の生活やご商売に甚大な影響を及ぼしているなか、「区に寄附したい」「国から給付される特別定額給付金を区のコロナ対策・困っている方の支援に役立てたい」との声も多く聞く。 このような温かいお気持ちを、区におけるコロナ対策・支援に活用するしくみをつくってはどうか。</p> <p>コロナショックにより雇用情勢は急速に悪化しており、働くことに関する相談が増えている。 相談体制を強化し、情報収集やキャリアカウンセリングも含めた支援をしてはどうか。</p>	区 長 関係 理事 者
6	小野議員 (都ファ)	1. 情報を早く確実に届ける ための工夫について  2. 千代田区における子ども 達の学びの質向上と環境整備 について	<p>(1) 区民目線で情報発信力を高める必要性について。 (2) 必要な情報をいち早く個人に届けるための手段として自治体でも公式LINEの活用が増えてきた。本区の今後の情報伝達手段について伺う。</p> <p>(1) 新型コロナ感染症拡大防止策による3か月の学校休業を経て、本区の教育への使命と目指す方向性を改めて問う。 (2) 学校の長期休業で見えてきた新たな発想や課題、今後の教育現場のあり方、課題解決について伺う。</p>	区 長 教 育 長 関係 理事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和2年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
7	小枝議員 (声)	コロナ後を見据えて。 1、コロナ危機から命を守る区政運営へ	①新型コロナによる経済の変化は、大きな税収の変化を及ぼす。財政状況の予測と対応をお示してください。 ②見通しの立たない経済的苦難が住民や地域商店を追い込みつつある。区は今こそ施策の優先順位を見なおし、困難に寄り添い地域を再生すべき。  土地の購入および大型公共施設について、慎重な検討を行うべきではないか。	区 長 関係 理事 者
8	長谷川議員 (紡ぐ会)	1. 区立小学校・中学校・中等教育学校の給食費無償化と、千代田区内の飲食店が実施する「子ども食堂」への助成を。  2. 災害避難所備蓄物資の浸水防止対策の進捗状況と、新型コロナウイルス感染症予防対策等について問う。	緊急事態宣言は解除されたが、第2波、第3波が懸念されている。保護者の減収により就学援助を必要とする世帯の増加が考えられる。今後も自粛生活が続くと思われるが、子どもたちの健康状態を把握しているのか。未来を担う子どもたちの3食のうちの1食を担う給食の無償化と、区内の飲食店と提携して「子ども食堂」を継続実施するための費用助成を。  間もなく梅雨入りを迎える。豪雨・台風による河川氾濫等で浸水被害が想定される地域の避難所における備蓄物資の浸水防止対策の進捗状況はいかがか。 災害時、避難所での感染症予防対策など、運営マニュアルの見直しは図られたか。避難所設営時の情報共有について区の方針を伺う。	区 長 教 育 長 関係 理事 者
9	西岡議員 (自民)	コロナ禍に於いての子育て支援について	①ひとり親家庭の感染対応について →乳児院、ホテル、自宅療養 等 ②自粛中の保育料等の支払措置について ③乳幼児ワクチン接種につき、病院の受診を控える状況下に於いて、定期予防接種等予診票の有効期限延長措置について	区 長 教 育 長 関係 理事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和2年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
10	飯島議員 (共産)	1) 感染拡大をさせない避難所運営を  2) 営業支援について	<p>新型コロナなどの感染症拡大時に自然災害が発生した場合、避難所がクラスターになってはならない。 一時避難所をはじめ、避難のあり方について再考を求める。</p> <p>①ひとり 2m 間隔のスペース確保、20 人に一か所のトイレ確保等を基本に、各避難所の収容可能数の見直し ②収容可能数を超えた場合の対応 ③避難所運営マニュアル(H31, 2 作成)の見直し など</p> <p>経済産業省の持続化給付金、都感染拡大防止協力金の給付対象条件から外れた事業者も「外出自粛」の影響は大きい。区独自の支援策を求める。</p> <p>①事業継続のためには給付が急務 ②日常の区民生活に不可欠な、生鮮三品など個店の存続支援 など</p>	区 長 関係 理事 者
11	牛尾議員 (共産)	1 新型コロナウイルス感染拡大への対応。とくに子育て世代への支援について  2 緊急事態宣言の解除のもとでの学校教育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親世帯への現金給付などの支援策の前倒しでの実施を求める。</li> <li>・就学援助を受けている世帯への支援の拡充を求める。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育て世代への支援のために 16 歳～18 歳までの区独自の支援策を求める。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再開した区立学校での新型コロナウイルス感染対策を聞く。</li> <li>・長期に休んでいた生徒・児童、とくに新入生が学校生活にいち早く慣れるように、児童に寄り添った支援とともに教職員の拡充を求める。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策による学校休業措置を踏まえたオンライン授業の環境整備と国のGIGAスクール構想は切り離して考えるべき。区の認識を問う。</li> </ul>	区 長 教 育 長 関係 理事 者
12	岩田議員 (立民)	今後の避難所の在り方について  今後の街づくりの在り方について	<p>複合災害と区が対応できる限界について如何に考えるべきか</p> <p>区は今後、交通インフラや学校インフラを含めた街づくりについてどのように考えるべきか</p>	区 長 教 育 長 関係 理事 者

# 発言通告書（総括表）

## 令和2年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
13	うがい議員 (自民)	ポスト・コロナ社会の地域コミュニティ活性化の在り方	<p>新型コロナウイルスとの共存の視点で迎える地域コミュニティの「新しい日常」と活性化の在り方を伺いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会活動 婦人部、青年部活動スタイル</li> <li>・交流イベントは開催できるのか</li> <li>・マンションコミュニティの順応性を活かせるか 等々</li> </ul> <p>地域コミュニティの「ニュー・ノーマル」を築く活性化の在り方を伺いたい。</p>	区 長 関係理事者
14	桜井議員 (自民)	新型コロナウイルス感染症に関連した本区の対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合災害への備えと予想される第二波、第三波に対しての万全な備えは</li> <li>・本区のGIGAスクール構想について</li> <li>・千代田区民の生活実態をふまえた対応について</li> </ul>	区 長 教 育 長 関係理事者